

第4章 札幌市立高校教育改革実行プラン（第1期）

1 札幌市立高校教育改革実行プラン（第1期）の施策体系

● ビジョンで掲げた三つの基本的方向性に基づき、今後5年間で取り組む基本施策、施策及び具体的事業・取組からなる実行プランを設定しました。

基本的方向性	基本施策	施策	具体的事業・取組		
1 生徒の個性や能力を伸ばす質の高い教育の充実	(1) 生涯にわたって活用できる力の育成	① 基礎的な知識・技能の習得と活かす力や主体性・協働性を育む学びの充実	○教育課程の改善 ○教育課程研究開発校の指定 ○市立高校合同講習会の実施 ○国際バカロレア型の課題探究的な学習モデルの共有		
		(2) 市高スタンダード（全校共通の取組）	① 進路探究学習の充実	○総合的な探究学習モデル研究開発校の指定	
			② 国際教育の充実	○生徒海外留学支援等の実施 ○グローバルキャンプの実施 ○グローバル教育研究開発校の指定	
	(3) 各校の特色化の充実	③ 教育相談体制の充実（特別支援教育の充実）	① 学校間連携・授業連携の推進	○校内支援体制の充実 <b>重点</b> ○特別支援教育コーディネーターの養成・資質向上 <b>重点</b> ○他校履修による弾力的な単位認定 <b>重点</b> ○通級指導教室の整備 <b>重点</b> ○個別の教育支援計画などの作成による支援の推進 <b>重点</b> ○インクルーシブ教育実践モデル研究開発校の指定 <b>重点</b>	
				② 多様な特色ある教育プログラムの提供	○学校間連携による単位互換システムの構築 <b>重点</b> ○単位制の試行導入 <b>重点</b> ○拠点校での特色ある科目・講座の開講 <b>重点</b> ○複数校が連携して合同開講する科目の設定 <b>重点</b>
					③ 学習成果を発表する機会の提供
	(4) 教員の資質・能力の向上	① 教員の授業力向上のための研修体制の充実	○教科別研修会の充実 ○アクティブ・ラーニング型授業に関する研修の充実 ○国際バカロレアのワークショップを活用した教員研修の実施		
	(5) 教育充実に向けた環境整備	① 教育充実を図るための学級削減・再編統合	○平成32年度及び33年度での合計4学級程度の削減		
	2 社会（地域）に開かれた教育活動の推進	(1) 地域資源を生かした教育の展開	① 地域や企業、大学等と連携した教育の充実	○大学や企業等との産学連携教育【再掲】 ○コミュニティ・スクールの導入推進	
		(2) 地域に貢献する人材の育成	① 地域の魅力や課題と結びつけた学習の推進	○札幌の魅力や歴史、文化などを学ぶ科目の設定【再掲】 ○地域課題の解決策を提案するプロジェクト学習の実施 ○地域産業に触れる学習プログラムの実施	
	3 学校の取組を支える仕組みの構築	(1) 広報活動の仕組みづくり	① 様々なメディア・機会を通じた広報活動の強化	○学習成果を発表する事業の実施【再掲】 <b>重点</b> ○ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）等を活用した生徒主体の情報発信 ○小・中学生等を対象とした早期からの広報周知	
			② 学校の広報活動を支援する組織体制	○市立高校コンシェルジュによる支援【再掲】 <b>重点</b>	
		(2) 外部人材活用の仕組みづくり	① 企業や地域などの外部人材の積極的活用	○大学や企業等との産学連携教育【再掲】	
			② 学校における外部人材の活用を支援する組織体制	○市立高校コンシェルジュによる支援【再掲】 <b>重点</b>	
		(3) 財政的支援の仕組みづくり	① 各校の教育充実を図るための資金の調達	○企業や市民等からの寄附による基金創設 ○効果的に資金を集める方策の検討	